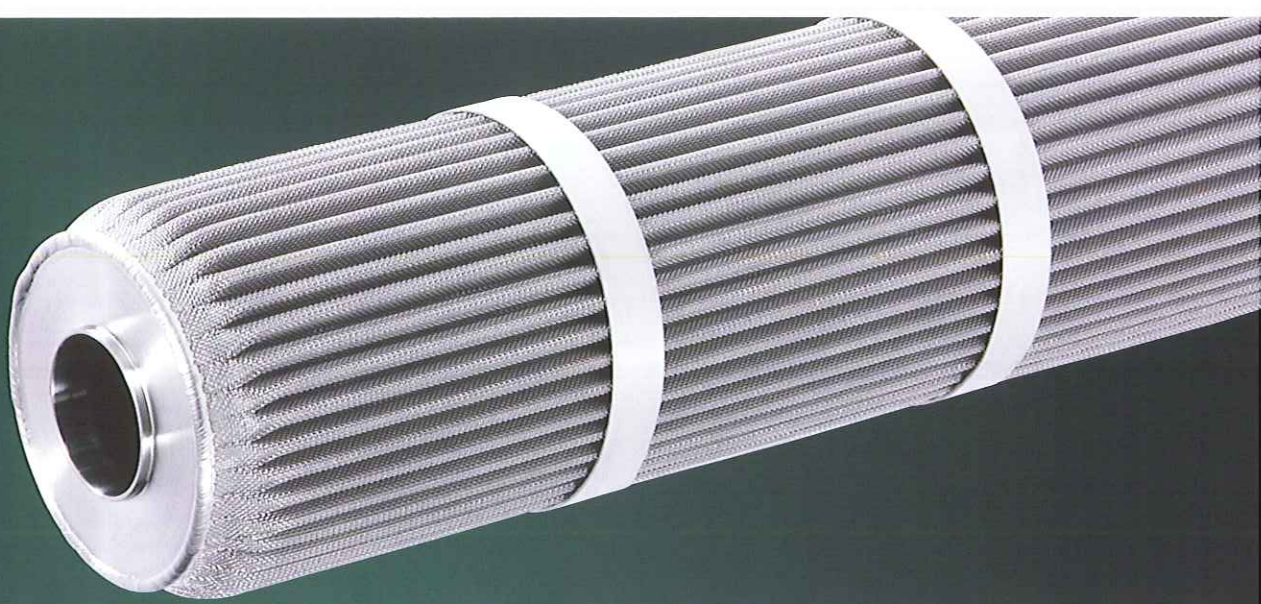


JFP
SERIES

JFC
SERIES



METAL FIBER CARTRIDGE

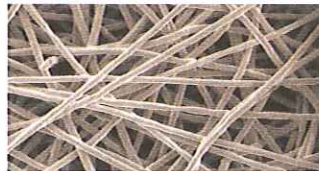
メタルファイバー カートリッジ
(焼結金属繊維不織布カートリッジ)

金属繊維不織布を使用したオールステンレスろ過フィルターです。

特徴

●高いろ過効率・低いろ過抵抗・高い異物捕集能力

ステンレス金属繊維を焼結しているため、ろ過空隙率が65%~80%と非常に高く、ろ過抵抗は低く、異物捕集能力が高いロングライフのカートリッジです。



メタルファイバー(焼結金属繊維不織布)

●優れた耐圧性

フィルターメディアは、三層構造で耐圧性に優れ、高粘度の液体のろ過にも最適です。

●耐熱性・耐薬品性(耐食性)・耐久性に優れている。

使用温度が-190℃から+400℃で、かつアルカリ及び酸に対応できますので、蒸気・極低温ガス・溶剤・薬品・食品・飲料などに最適なカートリッジです。

●洗浄して再使用できる。

目詰まりしたら洗浄して反復使用できますので非常に経済的です。

●低圧力損失・大流量タイプです。

ろ材にはステンレススチール金網を用いてろ過面積が大きいので、1本当たりの流量を格段と大きくとることが出来ます。従って、高粘度液用例には、カートリッジ本数が少なくて済みます。

●互換性のある共通サイズです。

外径φ60~φ70で長さ250mm・500mm・750mmの一般品と互換性があり、ろ過装置のグレードアップをはかれます。

仕様

●材質：ろ材 SUS316L プレート SCS14 その他 SUS316

●ろ材精度：3μ~40μ

●ろ過面積：(m²)

ろ材形状	サイズ	01型	02型	03型
プリーツ型		0.10	0.20	0.30
円筒型		0.04	0.09	0.13

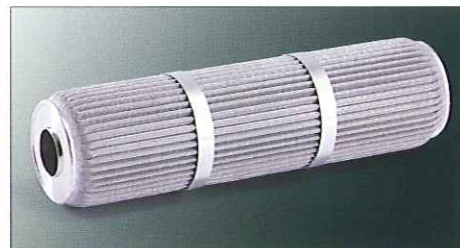
●耐圧性：加圧方向 (カートリッジ外→内) 0.86MPa

(カートリッジ内→外) 0.07MPa



MOSSFiL™

カートリッジ構造



プリーツ型カートリッジ

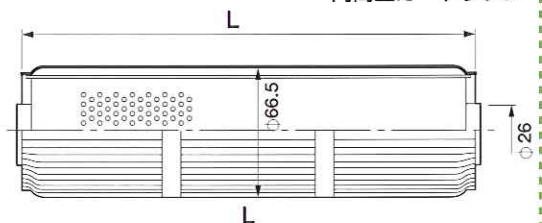
●ろ材形状



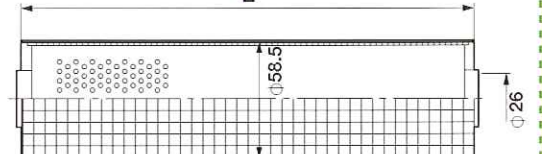
円筒型カートリッジ

●外型図

JFP
(プリーツ型)



JFC
(円筒型)



(注) H型・W型・F型もL寸法は同寸法です。
なお、W型およびF型の取付け関係寸法は別途に資料があります。

型式選定

製造番号

- - -

A

B

C

D

E

●A, B, C, D, Eの枠内に下記の形式をお選びいただきご記入ください。

A ろ材形状

JFP: プリーツ型
JFC: 円筒型

B 取付け構造

無印:フラットガスケット型
W:O-リング型 222 O-リングSOE
F:フィン型 226 O-リングSOE フィン付

C カートリッジ高さ (Lmm)

01:241.5
02:489
03:733

(L寸法はパッキンを含みません)

D ろ過精度 (公称ろ過精度 μm)

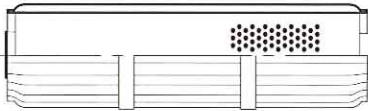
003:3
005:5
010:10
015:15
020:20
025:25
030:30
040:40

E ガスケット種類 (材質)

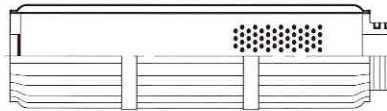
N:NBR
T:テフロン
D:シリコン
V:バイトン

取付け構造

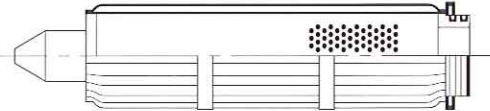
H型 (フラットガスケット)



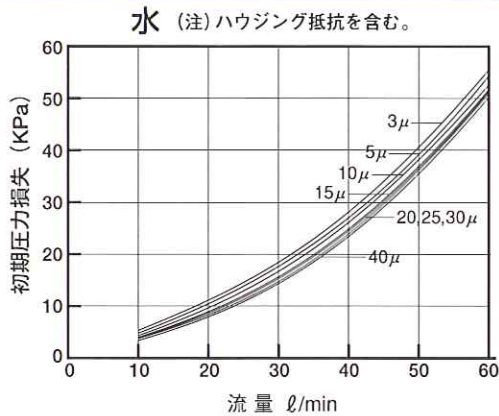
W型 (222 O-リングSOE)



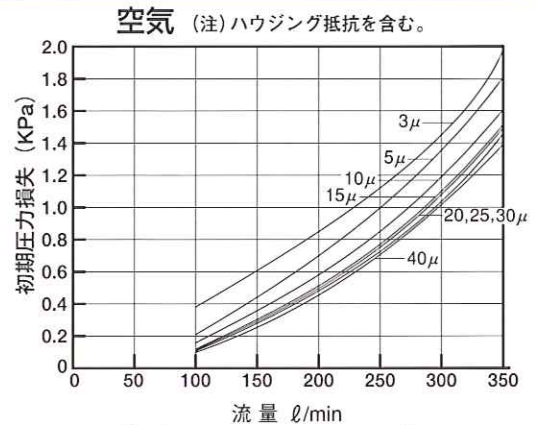
F型 (226 O-リングSOEフィン付)



流量 - 圧力損失特性



(条件) (1) 241.5mmカートリッジ使用
(2) 配管:1インチハウジング使用
(3) 水温:20℃



(条件) (1) 241.5mmカートリッジ使用
(2) 配管:1インチハウジング使用

メタルファイバー カートリッジの洗浄再生方法

目詰りしてカートリッジの圧力損失が増加した場合、次の方法で洗浄・再生してください。

●逆洗法

- まず脱脂を行います。(トリクレン・ナブサ・ガソリンなどの溶剤脱脂、アルカリ脱脂、界面活性脱脂などの方法があります。)
- 柔らかいブラシで、丁寧に表面をブラッシングして汚れをおとします。
- カートリッジの内側から圧縮エアーを吹きつけます。(以上を数回繰り返す。)
- きれいな脱脂剤で、脱脂します。
- 圧縮エアーを利用して水を吹きつけて水洗いを充分に行い、乾燥させて仕上げます。

●薬品洗浄法

- 逆洗では洗浄しきれない場合、混酸で洗浄し硝酸処理します。
- 充分に水洗し、圧縮エアーを吹きつけて水分を除去し、乾燥させます。

●超音波洗浄法

- 洗浄液中で、超音波洗浄を行います。
- 水洗を充分に行います。 ●水分を除去して乾燥させます。

汚れの種類によって、上記各洗浄方法を組み合わせて行えば、さらに効果的な洗浄を期待できます。

株式会社モスフィル

〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町2-5-3
TEL.048(736)7655(代) FAX.048(736)6674

http://www.mossfil.co.jp
E-mail:info@mossfil.co.jp